

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0170100812		
法人名	株式会社 ゆずり葉宮の森		
事業所名	グループホーム ゆずり葉宮の森		
所在地	北海道札幌市中央区宮の森2条5丁目2番27号 (電話) 011-613-0080		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月17日	評価確定日	平成21年3月26日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年12月24日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	30人	常勤	21人, 非常勤 9人, 常勤換算 23.12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋耐火構造 造り	
	3階建ての	1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000円	その他の経費(月額)	18,000~22,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	27名	男性	3名	女性	24名
要介護1	7名	要介護2	7名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 79.5歳	最低	71歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人三草会 クラーク病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

併設されている「宮の森なかよし児童育成会の子供達との日常的な交流や同一敷地内の「宮の森保育園」の入園式や卒園式での利用者の挨拶、お誕生会や豆まきなど日々の生活を通じて園児との交流が積極的に行われている3ユニットのグループホームです。また、絵手紙の先生を招き趣味への支援や石狩浜での地引網参加や定山溪での温泉入浴など戸外に出かけ気晴らしの取り組みも行われています。重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医、職員等と繰り返し話し合い、ターミナルケアを実践しています。また、「夏祭り」を開催して地域の住民や家族が参加して地元の人々との交流も積極的に行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、緊急時に日ごろより地域の人々の協力を得られる取り組みが挙げられていましたが、運営推進会議での委員への働きかけや保育園との協力体制の確立で課題改善に取り組まれています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホーム長及び管理者は、自己評価を実施する意義を理解しており、各階のリーダー及び管理者で協議されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され評価を活かして具体的な改善に取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、概ね4ヵ月毎に開催され、主な議題は 介護報酬改定について ターミナルケア実践報告について グループホームに於ける消防法改正について 火災避難訓練の結果報告について 今後のホームの課題と取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関入り口に苦情受付箱を設置して、意見や苦情を言い表せる機会を設けています。また、家族の来訪時には、健康状態や日常の暮らしぶり、家族等からの希望や要望、不安な点への対応など話し合わせ運営に反映されています。また、状態変化時には、都度報告され対応方法等話し合われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	保育園との合同の「夏祭り」では、地域の住民や園児の家族、利用者やその家族が参加して、盛大に行われて地域との連携・交流やホーム機能の地域への還元も行われています。また、ホーム1階には、児童育成会が併設されて、日常的に子供達が訪問して来たり、利用者が訪問して交流が積極的に行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、ホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園との合同の「夏祭り」では、地域の住民や園児の家族、利用者やその家族が参加して、盛大に行われて地域との連携・交流が行われている。また、ホーム1階には、児童育成会が併設されて、日常的に子供達が訪問してきたり、利用者が訪問して交流が積極的に行われている。		特筆すべき点として、保育園児や小学生の子供達との交流が多く利用者の楽しみごととなっている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長及び管理者は、自己評価を実施する意義を理解しており、各階のリーダー及び管理者で協議されている。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され評価を活かして具体的な改善に取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、概ね4ヶ月毎に開催されている。委員は、利用者家族、町内会役員、包括支援センター、民生委員、保育園園長、保育園主任、ホーム長、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。		今後は、概ね2ヶ月毎に実施されることを期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解し、市主催の研修会や講習会参加を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「ゆずり葉 たより」が発行されて、日常の生活の様子や行事開催の案内など情報提供が行われている。また、家族の来訪時には日常の暮らしぶりや生活の様子など話し合われている。金銭管理については、金銭出納帳を毎月家族に送付して報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に苦情受付箱を設置して、意見や苦情を言い表せる機会を設けている。また、家族の来訪時には、健康状態や日常の暮らしぶり、家族等からの希望や要望、不安な点への対応など話し合われ運営に反映されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会、包括支援センター等の外部研修の参加や市主催の研修会参加で研修の機会を確保している。また、毎月開催されるカンファレンスで内部研修を充実している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や近隣の同業者との交流、ホーム主催の行事参加で、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人、家族の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	センター方式を利用しながら職員は、本人を介護される一方の立場におかず、絵手紙や貼り絵、歌唱や調理の準備など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や買物、絵手紙やはり絵、六花亭までの外出など本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となってカンファレンスを実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買物、動物園見学や北海道神宮参拝など柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>利用者をよく知るかかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、職員間で共有されている。</p>		<p>特筆すべき点として、家族、医師、職員の協力のもとターミナルケアが実践されています。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、接遇について研修会で共通認識を持つように今後検討されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にし、料理の準備や洗濯物たたみ、散歩や買物、絵手紙やはり絵などその日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、料理の準備や盛り付け、後片付け等職員と本人と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように週2～3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、絵手紙やお茶だし、洗濯物干し・たたみ、調理の準備など「本人ができること」への生活の支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物、動物園見学や北海道神宮参拝、保育園児や小学生との交流、夏祭りへの参加や野外での昼食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、玄関は、センサーの設置で外出が察知できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理責任者が配置され、緊急時に速やかに対応ができるように火災避難訓練や救急救命講習が実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーは管理栄養士の指導のもと把握されている。また、具体的な食事や水分の摂取量、体重が把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間の壁には、利用者の手作りの絵手紙の作品や写真が飾られていたり、観葉植物も随所に配置され季節感や生活感が感じられる。広くゆったりした廊下や居間では、採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っている。今後は、エレベーターの設置が検討されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、筆筒や椅子、ソファなどの使い慣れた家具などが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。